

セメント・同製品製造業におけるコンベアを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	場内でベルトコンベアの上部のホッパー修理の為、ベルトの上で作業していた際にバランスを崩し、ベルトと鉄筋の間に左足が挟まり、宙吊り状態になった。	71	30～49
2	15～16	運転中の調合ベルトコンベアのベントプリーに原料が付着してベルトが蛇行していた。運転中のベルトコンベアの下に潜り、付着していた原料を掃除用治具を使用して削り落としていたが、危険且つ、きれいに掃除できないと判断し、立ち上がりろうとした際に、フレームを掴み損ねて、誤って左手がベントプリーに触れ、プリーとベルトの間に巻き込まれて被災した。	19	100～299
7	17～18	原料監視カメラ位置調整中、コンベア上での作業後、降りたときに安全柵の支柱を踏みつけ、足を捻って罹災した。	29	30～49
12	13～14	ミキサードラム内の生コン洗車をする洗い場において、洗車場のベルトコンベア周辺を調整・清掃中、コンベア運転中に、コンベア側部の異物を除去しようとした際に、右手作業服の袖口がコンベア下部のローラーに巻きつき、ローラー部に右腕が挟まれ被災した。	52	10～29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)